

【第1号議案資料】

公益財団法人 Uビジョン研究所

第7期事業計画

～2022年4月1日から2023年3月31日～

今年度は新型コロナウイルスの変異株が世界的に繰り返し感染拡大し、日本においても社会活動との共生が予測できない状況下です。事業計画がどこまで実行できるか課題の多いスタートとなりそうです。

このような状況下においても、Uビジョン研究所が事業継続できるように今年度は計画が成果につながるよう行動していきます。

多くの事業の対象となっている特養ホームなどの施設は、コロナの感染状況に敏感にならざるを得ないのは経営困難（事業の休止や職員の人手不足などによる）に陥ることを避けるため、それに柔軟に対応するためにUビジョン研究所においても財政基盤をさらに強固にしていく必要があります。

教育研修事業と認証施設拡大のためのPRを具体的に進めていきます。また、多くの施設や市民に認証を知ってもらうための市民セミナーを開催し、ニーズに対応できる事業につなげていきます。

「認証事業」

2021年度に2つの認証施設の取り消しがあり6施設が4施設に減少したことから、今年度は1施設増やしていきます。2021年度に契約更新で認証審査を行う予定であった社会福祉法人天雲会は新型コロナウイルスの感染拡大のため、理事長、施設長と話し合った結果、1年延期となり、今年度、実施することになりました。また、社会福祉法人晋栄福社会の中山ちどりの特養ホームと特定ケアハウスの2施設は3年の契約更新を迎えるため、更新による認証審査は3施設となり、合計4施設となります。

特養ホームを運営できる法人は限定されており、その中の日本赤十字社は全国で9施設運営しています。認証取得を提案していきます。

「施設評価事業」

虐待が発生した施設を中心に社会福祉法人へPRをしていきます。

「職員教育事業」

新型コロナの感染拡大により Zoom 研修に切り替えるなどの対応をした経験を活かし、インフルエンザなど感染の流行時には Zoom 研修に切り替えるなどの工夫をして継続できるようにしていきます。

今年度は研修料金を改定しました。約 40%下げた価格にしています。理由は、社会福祉法人の人件費率が約 75%を超え、教育研修を削減しているという調査があります。施設のサービスの質を高めるために研修は重要であることから、研修を受けやすいように見直しました。

「広報誌」

年 4 回（6 月、9 月、12 月、3 月）発行します。

「ホームページ」の見直しは今年も継続して行います。

「セミナー」

- ・トップマネジメントセミナーが 2 年連続延期となっておりますが、今年度は実施できることを期待して、社会福祉法人生活クラブ風の村特養ホーム八街において、開催予定です。
- ・2021 年度のプロジェクト「若手職員と介護の未来を考える会」の報告を兼ねて、シンポジウムを Zoom で開催します。
- ・都道府県や地域団体と協働して、市民セミナーを開催し、老人ホームの選び方について、老後の人生設計に役立つ活用セミナーを開催します。
- ・前年度に認証施設及び法人会員、評価者を対象に勉強会を無料で 3 回開催した結果、好評でした。今年度は、認証施設、法人会員、個人賛助会員、寄附者を含めて勉強会を無料で開催します。

「出版事業」

昨年度のプロジェクト「若手職員と介護の未来を考える会」の報告書を作成し、広く配布、販売していきます。

「特養ホームの選び方のポイント」の冊子を作成し、高齢者や居宅支援事業所などに PR すると共にセミナーで普及販売します。

「寄附金」

寄附金は事業活動や運営に大きな支援になっています。改めて、多くの人の支援に応えられる事業をしていかなければならないと強く感じています。

無料でのセミナー開催、勉強会の開催、事業 PR など寄附金で活動ができるように、引き続き寄附金の募集に力をいれていきます。

「賛助会員」

- ・ 個人賛助会員は、自然退会などもあり厳しい状況ですが微増しています。加入拡大には機会が必要であるため、他の事業（市民セミナー）とリンクさせて拡大に努めます。
- ・ 法人賛助会員は、社会福祉法人だけでなく、広く株式会社の加入を促進していきます。

「事務局」

常勤職員 1 人、非常勤職員 1 人、有償ボランティア 1 人（現在、療養中）、理事長（非常勤）の体制で運営していきます。

非常勤の職員に対して、夏休みを 3 日間取れるようにしています。年末年始は 12 月 25 日から翌年 1 月 5 日までの休みです。

コロナ感染拡大に伴い、退出時間を 17:00～16:30 に変更し、感染者が 1 万人超えた段階で 16:00 退出するなど防止策を取るなど職員の安心と安全を守る体制を柔軟に作っていきます。